

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第5部門第3区分
 【発行日】令和5年9月6日(2023.9.6)

【国際公開番号】WO2023/053204
 【出願番号】特願2021-575000(P2021-575000)

【国際特許分類】

F 2 5 B 1/00(2006.01)
 C 1 0 M 129/18(2006.01)
 C 1 0 M 107/24(2006.01)
 C 1 0 M 105/38(2006.01)
 C 1 0 M 107/34(2006.01)
 C 0 9 K 5/04(2006.01)
 C 1 0 N 40/30(2006.01)
 C 1 0 N 30/12(2006.01)
 C 1 0 N 30/06(2006.01)
 C 1 0 N 30/00(2006.01)

10

【F I】

F 2 5 B 1/00 3 9 6 Z
 C 1 0 M 129/18
 C 1 0 M 107/24
 C 1 0 M 105/38
 C 1 0 M 107/34
 C 0 9 K 5/04 C
 C 1 0 N 40:30
 C 1 0 N 30:12
 C 1 0 N 30:06
 C 1 0 N 30:00 Z

20

【手続補正書】

30

【提出日】令和3年12月9日(2021.12.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

トリフルオロヨードメタンを含む冷媒が循環し、冷凍機油と、前記冷媒中のトリフルオロヨードメタンの劣化に伴い発生するヨウ化水素を吸着することで捕捉可能な劣化物捕捉材であって、前記冷凍機油の質量の0.0037倍以下の質量のヨウ化水素を捕捉可能な前記劣化物捕捉材と、が封入された冷凍サイクルを備える空気調和機。

40

【請求項2】

前記劣化物捕捉材の質量は、前記冷凍機油の質量の0.4倍以下である請求項1に記載の空気調和機。

【請求項3】

前記劣化物捕捉材は、1gあたり0.006g以上のヨウ化水素を捕捉可能であり、常温で固体である請求項2に記載の空気調和機。

【請求項4】

前記劣化物捕捉材の質量は、前記冷凍機油の質量の0.25倍よりも大きい請求項2又

50

は 3 に記載の空気調和機。

【請求項 5】

前記冷凍サイクルに封入される前記冷凍機油には、エポキシ基を有する酸捕捉剤が 0 . 1 w t % 以上、かつ 5 w t % 以下含まれ、

前記劣化物捕捉材の質量は、前記冷凍機油の質量の 0 . 0 5 倍以上、かつ前記冷凍機油の質量の 0 . 2 5 倍以下である請求項 2 又は 3 に記載の空気調和機。

【請求項 6】

前記冷凍機油は、ポリビニルエーテル油、ポリオールエステル油、ポリアルキレングリコール油の何れかである請求項 1 乃至 5 の何れか 1 項に記載の空気調和機。

【請求項 7】

トリフルオロヨードメタンを含む冷媒が循環する冷凍サイクルに、冷凍機油と、前記冷媒中のトリフルオロヨードメタンの劣化に伴い発生するヨウ化水素を吸着することで捕捉可能な劣化物捕捉材であって、前記冷凍機油の質量の 0 . 0 0 3 7 倍以下の質量のヨウ化水素を捕捉可能な前記劣化物捕捉材と、を封入する工程を含む空気調和機の製造方法。

10

20

30

40

50